

かなみつ理恵さんを知事にして千葉を変え、日本を変えよう！

2021年3月3日 市民が主役の明るい松戸市をつくる会

3月4日に千葉県知事選挙が告示されます。今度の選挙では、まず第一に新型コロナから県民の命と暮らしを守ることを最優先にする県政が求められています。千葉県は財政力は全国第4位でありながら、医療・福祉・教育は軒並み全国最低レベルという県政を抜本的に転換することは、県民の切実な願いです。そのためには、不要・不急の大型開発を見直さなければなりません。

さらに、木更津へのオスプレイ配備や幕張メッセでの武器見本市開催などを黙認・協力し、日本の過去の侵略戦争と植民地支配を美化する教科書の採択をすすめ、自民公明政権の「戦争をす国づくり」に追随する県政も転換し、菅強権政治にも審判を下さなければなりません。

それでは、誰がこの転換をなしうるのでしょうか。「自民党県議」はこうしたこれまでの県政を推進してきた張本人です。「千葉市長」はその3期12年で336億円の市民サービスを削り、335億円を大型開発につぎ込みました。「成田空港機能強化」や北千葉道路・第二湾岸道路推進の立場は「自民党県議」と「千葉市長」はうり二つです。そして、この知事選挙にむけての公開討論会や市民団体のアンケートでは、東海第二原発の再稼働に反対せず、オスプレイ配備や武器見本市にもNoと言いませんでした。なぜなら、「千葉市長」は自民党国会議員と公明党国会議員に支援されているからです。自民・公明が二手に分かれて争う選挙では、どちらが勝っても、これまでの自民党県政は変えられません。

県政の根本的転換は唯一の女性候補、ジェンダー平等もめざす**かなみつ理恵さん**、多くの市民団体、女性団体が推薦する、「明るい会」の**かなみつ理恵さん**でこそ実現できます。

いま有権者は、こうした選挙の争点と構図を知れば知るほど**かなみつ理恵さん**への期待を高めています。財政力4位がいきる、命と暮らし最優先の千葉県、誰もが自分らしく生きられる千葉県をめざし、残された期間、最後まで**かなみつ理恵**知事誕生へ、みなさんの力をお貸しください。